

平成23年度研究科横断型教育プログラム(Aタイプ)授業科目

担当研究科名		経済学研究科		横断 区分	文理横断型	開講 場所	吉田キャンパスにて開講		
授業科目名		現代日本産業論A			講義担当者 所属・氏名		経済学研究科 塩地 洋		
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単位	開講 期	前期	曜 時 限	隔週金4・5限 (14:45-18:00)	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
<p>現代日本産業において生産管理は重要な位置を占めている。授業では、「テイラー主義・フォードシステム・トヨタ生産方式の歴史的位相の比較研究」という全体テーマに基づいて、関連文献を系統的に検討していく。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 他研究科の聴講を促している授業科目である。文理の交流をすすめる。</p>									
〔授業計画と内容〕									
<p>以下の課題について、1課題あたり1～2回程度の討論を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラフツマン支配との対決＝テイラー主義の生成とその普及 2. テイラー主義、アメリカンシステムからフォードシステム＝移動組立ラインへの展開 3. H.フォードによる純粋フォードシステム＝リーン・リジッド＝大量生産体制の確立 4. GMのフルライン生産とフォードシステム——その共通基盤と変容点 5. リーン・リジッドからバッファー・リジッド＝近年フォードシステムへの変転 									
〔履修要件〕									
とくになし									
〔成績評価の方法・基準〕									
討論における積極性									
〔教科書〕									
テーマに応じてきめる									
〔参考書等〕									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
自動車産業関連の見学									